

癌の後遺症からも復活。 いまは想像もしなかった生活がある。

湯河原へゆうゆうの里

星野

ゆきこ
之子様

(78歳)

平成28年

入居時一人入居



と思い湯河原への入居を決めました。親切に手伝ってくれた近所の友人は泣いて別れを惜しんでくれました。

パークゴルフができるようになるなんて

子育てに協力してくれた 母の介護

高校を卒業してからビクターの下請け会社に勤めて、その後米軍基地でタイピストとして働いていました。前の会社で知り合った主人と結婚。そして息子が誕生し、育児と仕事を両立しようと頑張ったのですが、息子が10か月で麻疹になってしまって。その時、母が自分の仕事を辞めて手伝ってくれるようになったお陰で仕事を続けられました。

私が42歳のときに、その母が要介護になって自宅で見ることになったのです。長い自宅での介護の後、最後にお世話になった施設でも、母には最後まで寄り添ってあげたいと毎日通いました。母のことは合計10年看てからおくりました。

「サンキュウー之子」って 書いて逝った主人

主人は体が丈夫じゃなくていろいろと病気をしました。定年後に肺癌も手術しています。その後、腿に違和感を感じて北里病院に行ったら、ギランバレー症候群と診断されました。リハビリの専門病院で治療して、漸くすり足で歩けるようになって退院。要介護3になりデイサービスとシヨートステイを

利用しながら7年看ました。シヨートステイではお習字なんかやってくるんだけど、お通夜の前日に「サンキュウー之子」って書いたのが見つかったの。それを見たら主人の気持ちが変わり、それだけで私は満足でした。

癌の後遺症で要支援2に なったときの決断

主人の3回忌が終わったとき、突然胸に痛みが走りました。翌日病院行くと乳癌と診断されました。乳癌なんて痛みがないのに、きつと主人が教えてくれたのでしよう。抗癌剤治療は苦しかった。吐き気、手足のしびれ、爪も真つ黒になって髪や眉毛まつ毛もみんな抜けました。退院直後は後遺症が残る要支援2をもらいました。その時、家1軒維持していくのは無理だと思いました。友人に誘われ体験入居に来て、「ここなら、自分らしい生活ができる。」

入居して生活は一変しました。温泉効果と精神的な安心、毎日の散歩がいいんでしょうね。アスレチックジムのお陰もあり、後遺症のせいで4と7まで落ちた握力が今は20kg以上になりました。息子家族とも一緒に海外旅行へ行ったり、いい距離感を保っています。正直、自宅にいたら、弟もひとりを外に出るなど心配するし、あのままでは、ずっと杖をついた生活だったと思います。

今は毎日自然を楽しみながら5kmのウォーキングをしています。途中で花を見つけて写真を撮るのも楽しいですよ。

それと月に2回のパークゴルフは最高。あんな空気が良くて、真鶴半島や相模湾を見下ろす所で：春は河津桜が一番先に咲いて、ソメイヨシノ、枝垂れと咲いてね。友人たちと冗談を言いながらプレーするのが本当に楽しい。全部自分の時間だから、今は本当に自由！



パークゴルフは最高



家族で台湾旅行 皆で天燈に願いを書く！

断された。リハビリの専門病院で治療して、漸くすり足で歩けるようになって退院。要介護3になりデイサービスとシヨートステイを

利用しながら7年看ました。シヨートステイではお習字なんかやってくるんだけど、お通夜の前日に「サンキュウー之子」って書いたのが見つかったの。それを見たら主人の気持ちが変わり、それだけで私は満足でした。

入居して生活は一変しました。温泉効果と精神的な安心、毎日の散歩がいいんでしょうね。アスレチックジムのお陰もあり、後遺症のせいで4と7まで落ちた握力が今は20kg以上になりました。息子家族とも一緒に海外旅行へ行ったり、いい距離感を保っています。正直、自宅にいたら、弟もひとりを外に出るなど心配するし、あのままでは、ずっと杖をついた生活だったと思います。